

2級 (E)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
だ	う	あ	す	う	せ	に	き	い	う	ふ	し	げ	て	し	い	じ	い	き	ひ	し	き	け	し	が	こ	ふ	た	こ	ぎ
し	れ	と		じ		お		ど		ん	は	じん	い	ょう	ん	う	く	ん	お	ん	よう	く	ん	しょう	こう	よ	ん	う	ち
1×30																													

(30)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(三) 熟語の構成 (20)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(二) 部首 (10)
ウ	イ	ア	イ	オ	エ	ウ	エ	イ	ア		口	一	走	彡	女	頁	木	小	亀	酉	
2 × 10										1 × 10											

設問(三)と(四)問2はマークシート方式です。										15	14	13	12	11	問2 意味	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1 書き取り	(四) 四字熟語
										エ	コ	ク	カ	ケ		清	酒	換	妖	醉	平	翼	翼	成	美	暮	(30)
										2×5						2×10											

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(六) 同音・同訓異字	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(五) 対義語・類義語
端	刃	逃	当	双	壮	水	吹	警	軽	(20)	采	割	懲	逐	遺	恥	懷	暗	治	寡	(20)
2×10											2×10										

5	4	3	2	1	(九) 書き取り (50)	5	4	3	2	1	(八) 漢字と送りがない (10)	5	4	3	2	1		(七) 誤字訂正 (10)
緊密	伴侶	格子	戦慄	万華鏡		衰え	廃れ	損なう	臭かつ	促さ		依	擬	羅	憲	垂	誤	
2 × 25						2 × 5						2 × 5						

(下へつづく)

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
机	暁	窮	戯	憤	溝	挟	霜	糧	培	惨	口	一	名	転	払	押	荒	泥	詐
上							柱				癖	矢	刹	嫁	拭	印	涼	流	称

準2級

(E)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
読み	は	し	ち	や	む	ど	す	た	ほ	き	こ	せ	け	い	ぎ	そ	だ	ぜ	かん	ど	は	ふ	ど	ご	く	さ	め	かん	は
き	ら	も	か	わ	ね	ろ	す	ま	り	ゅう	ん	り	ん	かん	じよう	う	ぶ	ん	じ	う	は	っ	う	ふ	じ	し	い	ら	く

1×30

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(三) 熟語の構成 (20)
ウ	ウ	エ	イ	ア	イ	オ	ウ	エ	ア	
2 × 10										

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(二) 部 首 (10)
衣	シ	么	广	土	之	卢	瓦	青	、	
1 × 10										

1×10

15	14	13	12	11	問2	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1
ア	ケ	イ	コ	エ	意味	紫	範	懲	双	是	独	闘	端	尋	城	書き取り

2×5

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
揺	結	核	確	遍	偏	去	扱	崇	枢

2×10

2×10

5	4	3	2	1
同	感	珍	神	純
伴	涙	味	妙	粋

2×25

5	4	3	2	1
潤	含	背	拒	鮮
う	める	け	ま	やかに

2×5

5	4	3	2	1	
革	挑	索	価	口	誤
閣	眺	策	貨	工	正

2×5

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
操	漬	狂	粗	粹	蚊	惜	二	漆	密	殺	肯	蛍	漠	余	溪	平	豪	水	倫
							重		封	菌	定	光	然	剰	流	衡	華	彩	理

（下へつづく）

3級 (E)

(一) 読み (30)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
こ	ゆ	はなよめ	おとろ	と	ふくろ	くわだ	なま	くわ	う	しょうどう	ちゅうしょう	そうだつ	きよえいしん	へんてつ	きんかい	かいだん	ようこう	さいそく	たんれん	たくじ	ほんぼう	てんぷく	きょうい	えんせき	きょうぐう	ないふん	つうこん	かんげん	ちぎよ

(二) 同音・同訓異字 (30)

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	エ	イ	イ	オ	エ	ア	ウ	イ	オ	ア	ウ	オ	エ	ア
提	避	裂	誇	雇	顧	隔	郭	穫	昇	鐘	掌	斤	緊	均

(三) 漢字識別 (10)

5	4	3	2	1
ア	カ	オ	ク	イ
扱	免	抑	謀	翻

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

(四) 熟語の構成 (20)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	イ	ウ	イ	オ	ア	エ	イ	ウ	ア

(五) 部首 (10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	エ	ウ	ア	ウ	ウ	ア	イ	エ	イ
十	羽	尸	鼻	ル	イ	々	ネ	之	雨

(六) 対義語・類義語 (20)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
切	歴	富	展	辛	束	協	暴	架	簡

(七) 漢字と送りがな (10)

5	4	3	2	1
漏	携	詳	報	照
れる	わつ	しい	いる	らし

(八) 四字熟語 (20)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
絶	欠	息	一	棒	美	真	千	自	順
後	乏	災	憂	大	辞	剣	差	画	風

(九) 誤字訂正 (10)

5	4	3	2	1	
加	当	脳	支	杯	誤
価	統	能	施	敗	正

(十) 書き取り (40)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
幻	鯨	吹	押	漂	霧	苗木	気難	甲	焦点	巧妙	装置	屈辱	冷凍	憲法	完了	幽閉	就寝	没頭	手錠

(E)

 1×30
$$2 \times 15$$
$$\overline{2 \times 5}$$
 1×10^6 2×10 1×10 2×10 2×5 2×10 2×5 2 × 20

5級

(E)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
じ ぞ う	こ う そ う	お さ	え ん ど う	ち ゅ う	か い ま く	け い ご	う ち わ け	そ な	あ や ま	ま ど	こ う て つ	か い か く	り ゅう い き	か い こ	さ が	し お	じ こ	す	お

(一) 読み

(20)

1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
10	3	7	4	10	9	15	8	5	3	キ	あ	ア	こ	エ	い	ケ	か	コ	く

(三) 画数(算用数字)

(10)

1×10

(二) 部首と部首名(記号)

(10)

1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
イ	ア	ウ	エ	ウ	ア	イ	エ	ウ	ア	厳しく	拝む	閉じる	忘れる	染まる

(五) 音と訓(記号)

(20)

2×10

(四) 漢字と送りかな(ひらがな)

(10)

2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
誠	盟	就	宅	論	裏	減	痛	段	片	賛	補	株	郷	呼	射	針	源	密	座

(七) 対義語・類義語(一字)

(20)

2×10

(六) 四字の熟語(一字)

(20)

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
装	操	起	揮	覚	拡	経	警	原	腹	ア	ウ	イ	ウ	エ	ウ	エ	ア	イ	エ

(十) 同じ読み漢字

(20)

2×10

(九) 熟語の構成(記号)

(20)

2×10

(八) 熟語作り(記号)

(10)

2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
宝	傷	疑	卷末	散策	胸	穀物	郵便	泉	政党	俳句	縦	危	脳	卵	観衆	認	乱	頂上	冊

(十一) 漢字

(40)

2×20

6級 (E)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
な	き よう み	わ た ぐ も	こ ろ	お り も の	せ っ せん	が く	た ん さん	こ が た	け ん さ	は	か ん そ く	て き せ つ	ま	ぶ ん か ざ い	た し	へ い き ん	こ う え ん	い ど う	え だ

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
心	オ	リ	エ	イ	コ	ハ	カ	口	キ

(三) 部首名と部首 (10) 1×10

5	4	3	2	1
過 ぎ る	導 く	寄 せ る	貧 し い	営 む

(二) 漢字と送りかな (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	ア	エ	ウ	イ	エ	イ	ウ	ア	ウ

(五) じゅく語の構成記号 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
8	1	16	11	18	11	12	10	5	3

(四) 画数(算用数字) (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
造	断	留	久	絶	述	益	逆	賛	可

(七) 対義語類義語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
現	液	貿	条	精	圧	犯	眼	雑	率

(六) 三字のじゅく語(一字) (20) 2×10

9	8	7	6	5	4	3	2	1
支	師	史	費	肥	採	災	飼	買

(十) 同じ読みの漢字 (18) 2×9

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ア	ウ	エ

(九) 音と訓記号 (20) 2×10

6	5	4	3	2	1
イ	サ	コ	ケ	ウ	ク

(八) じゅく語作り(記号) (12) 2×6

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
余	険	清 潔	再	燃	往 復	輸 出	減	豊	保 護	芸 術	事 故	準 備	規 則	破	合 格	銅	困	似	桜

(十一) 漢字 (40) 2×20

(E)

 1×20
$$2 \times 10$$
$$\underline{2 \times 5}$$
$$2 \times 10$$
$$2 \times 10$$
$$2 \times 20$$

(一) つぎの——線の漢字の読みがなを
——線の右に書きなさい。

(30
1×30)

- 1 野原一面にコスモスがさく。
- 2 国語の時間に主語とじゅつ語を学ぶ。
- 3 学芸会のけきのせりふを暗記する。
- 4 花火が空高く打ち上げられた。
- 5 黒板にはられた絵地図に注目する。
- 6 文章に書いて考えをまとめた。
- 7 キャンプの申しこみをする。
- 8 星のかんづつを根気よくつづける。
- 9 投げたボールを大が拾ってきた。
- 10 たまごの黄身と白身を分ける。
- 11 工事のため通学路が一部かわった。
- 12 学校の農園でさつまいもを作る。
- 13 始業式で元気よく校歌を歌った。
- 14 もう少し歩けば駅に着く。
- 15 秋祭りのおはやしが聞こえてきた。
- 16 作者の気持ちがよく表れた詩だ。
- 17 こわい話を聞いて寒気がした。
- 18 かみの毛をくして整える。
- 19 ひこうきが空港をどび立った。
- 20 となり町に住むおじをたずねる。

幸第童対宮
帳齒様運流

(二) つぎの漢字の太いところは、何番めに
書きなさい。○の中に数字を書きなさい。

(10
1×10)

はつがしら……**発**見・**登**山
くるまへん……**軽**い・**自**転車
まだれ……**中**庭・**金**庫
こころ……**悪**人・**た**め息
こげとへん……**病**院・**二**階

(四) おなじなかなの漢字を○の中に書きなさい。

(20
2×10)

(三) (一)の中に漢字を書いて、上のはんたいの
いみのことばにしなさい。

(10
2×5)

心配——(安)心
勝つ——(負)ける
来年——(去)年
ちらばる——(集)まる
かりる——(返)す

○この答えを見て、書けなかったところは
どこか、まちがったところはどこか、
しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、
そのままにしないで、すぐに練習をして
正しくおぼえましょう。

〔不許複製〕

(五) つぎの(一)の中に漢字を書きなさい。

(20
2×10)

ゆうびん(局)てはがきを買う。
長い間作(曲)家として活やくした。
物語を読んで感(想)文を書く。
お楽しみ会の(相)談がまどまる。
遠足の写(真)をアルバムにはる。
音楽に合わせて選手が行(進)する。
ひざをすりむいて出(血)した。
大工になろうと(決)意する。
うなぎの一生について(研)究する。
兄は(県)立の高校に通っている。
つぎの——線のカタカナを○の中の漢字を
おくりがなひらがなで○の中に書きな
さい。
へれい(大)オオキイ花がさく。 大きい
1 味 おばあさんの作った料理をアジワウ。
2 重 同じ大きさの皿を三まいカサネル。
3 美 池に羽のウツクシイ鳥がいた。
4 放 広い草原に羊をハナス。
5 助 人の命をタスケル仕事をした。
大きい 放す 助ける

(七) つぎの——線の漢字の読みがなを
——線の右に書きなさい。

(10
1×10)

目ざまし時計の調子がよくない。
商店がいにとんな店があるが調べる。
冬休みに海外旅行をする予定だ。
旅先で名物のだんごを食べた。
父と川の上流で魚つりをした。
長ぐつについた土をあらう流す。
図かんでマンモスの化石を見た。
さもだめしてお化けの役をする。
一羽のはとが電柱の上にとまった。
寺の太い柱のかげにねがいた。
(ハ) つぎの○の中に漢字を書きなさい。
1 昔 話を読んで思ったことを
ノートに短くまとめる。
2 弟といっしょに近所
の公園へ
遊びに行く。
追いつけなかった。
3 外国の有名なチームが
サッカー教室を開く。
4 友だちは走るのが速くて
追いつけなかった。
5 いちようの黄色い葉が
ひらひらと落ちる。
6 昼休みにクラス全員で
ドッジボールをした。
7 夕食の前に算数の宿題を
すませた。
8 花だんに植えたハウセンカが
たくさんの実をつけた。
9 来年、新しい体育館が
できるそうだ。
10 医者から薬の飲み方について説明を受ける。

— お わ り —

(一) つぎの文をよんで、——せんどの漢字の(22)1X22
よみがなを——せんどの右にかきなさい。

1 朝からよく晴れていて、空に雲が一つもない。

2 きう、生活科の学しゅうで学校の近くのパンやさんに行った。お店の人に話を聞かせてもらった。

3 ダチョウは馬よりはやく走ることができる。

4 図かんにかいてあった。

5 紙ねん土で三角や四角など、いろいろな形のケーキを作つて、えのぐで色をつけた。

6 秋になって、原っぱにいる虫の鳴き声が大きくなった。

(二) つぎの漢字のふたひとはなんぼんに(10)1X10
かきなさい。○の中にうたふたふたをきなさい。

半通里組門
3 8 6 9 5
答売家南画
12 7 10 9 8

(三) □にひらがなを一字かいてつぎの(8)1X8
ことはよみをこたえなさい。
(れい) 左右……さゆう

東西……とうざい
野生……やせい
親切……しんせつ
昼間……ひるま
町内……ちやうない

(四) ○のころは、はるか、とめるか、(4)1X4
正しいかたで○の中にかきなさい。
(れい) 字→字、下→下、下→下

外国……がくこく
市場……いちば
汽車……きしや
同じ組……おなじぐみ

(五) つぎの文をよんで、——せんどの漢字の(10)1X10
よみがなを——せんどの右にかきなさい。

きゅう食のカレーが大好きだ。
兄は食べるのがはやい。

好きな詩を音読する。

一週間に本を二さつ読む。

風船が空高くとんでいった。

船にのって、しまをめぐる。

自分の考えをはつきり言う。

もらったおかしを妹と分ける。

姉は夜おそくまでべん強する。

強い風でかんぱんがたおれた。

——うらへつづく——

(六) つぎの漢字のひらがなを漢字で(6)1X6
はくご、どろが正しうに○をつけてなさい。正しい

1 毛首
2 手首
丸た
2 丸太
2 丸大
こう作
2 土作
2 工作
話しかた
1 話し方
2 話し方
ち下室
2 地下室
2 池下室
ふる本
2 古本
2 右本

(七) れいのようにおなじな漢字を(20)2X10
□の中にかきなさい。

道ばた・遠足
雪山・電車
回る・公園
月・光
日曜・日
元氣

(八) つぎの漢字の□の中に漢字をかきなさい。(20)2X10

秋・春
白・黒
馬・牛
月・星
足・頭
うごく・止まる
行く・来る
走る・歩く
強い・弱い
太い・細い

(九) つぎの文をよんで、□の中に漢字を(50)2X25
かきなさい。

1 夏休みに海へ行つて
2 楽しかったことを絵にかいた。

2 川に白い鳥がたくさんいた。
羽を広げたり、
魚をとったりしていた。

3 父の日のプレゼントを
弟と二人でわたした。

4 毎日、心にのこった
ことや思つたことを

日記に書く。

5 タンブリンのリズムに

6 合わせて歌をうたう。

7 算数の学しゅうで、
二つの点をむすんで

直線を引いた。

7 お母さんに買って
もらった新しいくつを

はいて出かける。

——おわり——

○この答えを見て、書けなかったところはどこか、まちがったところはどこか、
しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、
そのままにしないで、すぐに練習をして
正しくおぼえましょう。

1 つぎのぶんをよんで、———の
かん字のよみがなを———の
みぎにかきなさい。(40) 2×20

1 山でひろったどんぐりに

白いペンで目と

口をかいいた。

2 おべんとうばこの中に

三かくのおにぎり二こと

大すきなからあげが

入っている。

3 休みの日に、スケートに

いった。手すりをつかんで

やっと、こおりの上に

立つことができた。

2 つぎのかん字のふいところは
なんばんめにかきますか。○の
なかにすう字をかきなさい。(12) 1×12

正 3

貝 4

小 1

花 5

町 6

千 2

七 2

火 4

百 6

村 7

円 4

学 8

できた。

かた足とびが五かい

5 校でいてなわとびをした。

なり、雨がふってきた。

4 タがた、天気がわるく

3 つぎのぶんをよんで、———の
かん字のよみがなを———の
みぎにかきなさい。(16) 2×8

ぼくはよる九じにねる。

貝がらを九つひろった。

いとこと一年ぶりにあった。

お年よりにけん玉をおそわる。

おりがみて金メダルをつくる。

がいこくのお金をもらった。

土よう日にしあいがある。

土をはるとみみずがいた。

——うらへつづく——

4 つぎのこたばのよみがなを
ほうのばんごうに○をつけなさい。
(16) 2×8

1 王さま ① おうさま
2 おおさま

2 百円 ① ひやくえん
② ひやくえん

3 かん字 ① かんじ
② かんじ

4 名月 ① めいげつ
② めいげつ

5 八本 ① はつぽん
② はつぽん

5 ⑤ にひらがなを一字かいてつぎの
こたばのよみをこたえなさい。(12) 2×6

花火はなび

二人ふたり

石だん いしだん

力もち ちからもち

入学にゅうがく

6 つぎの□のなかにかん字をかきなさい。
(20) 2×10

山川

上下

え文

みぎ左

くさ木

もり林

はり糸

白青

おそい早い

入れる出す

7 つぎのぶんをよんで、□のなかに
かん字をかきなさい。(40) 2×20

1 男の子がもっていた

赤いふうせんが、かぜに

とばされて空たかく

2 先生に竹うまの

のりかたをおそわる。

3 草はらで 虫を

さがしていたら、バッタが

4 四ひきいた。

11 車にのつてとなり村に

いった。みちの右がわに

13 田んぼが見えた。

15 女の人が犬を

6 森の中で目をとじて

18 耳をすますと、水の

ながれる音やとりの

なくこえがきこえる。

——おわり——